

# お 知 ら せ

平成 28 年 10 月 26 日  
国土交通省中部地方整備局  
入札監視委員会第二部会事務局

## 中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第 2 回定例会議を開催 — 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成 28 年度第 2 回定例会議を  
10 月 14 日、中部地方整備局にて開催しました。

第二部会第 2 回定例会議では、発注工事等の中から抽出した 5 件の事案に係る  
一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、  
地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、  
意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

### 1. 日時及び場所

日 時：平成 28 年 10 月 14 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

### 2. 審議概要

別紙のとおり

### 3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、  
港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

### 4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 岡本 耕司

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

## 別紙1

## 平成28年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

## 第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成28年10月14日(金) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 横溝 大 (大学院教授) 伊藤 倫文 (弁護士) 中村 友昭 (大学院准教授)		
審議対象期間	平成28年4月1日～平成28年6月30日		
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	2 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル	0 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告は、なし。		

別紙 1 - 2 抽出案件一覧表

【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事) 期間 平成28年4月1日~平成28年6月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成28年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P3~P9)上部工事	港湾等鋼構造物工事	8	8	5月13日	JFEエンジニアリング(株)	2,723,328	89.9	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 期間 平成28年4月1日~平成28年6月30日

工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成28年度 田子の浦港航路泊地(-12m)港口部整備工事	港湾等しゅんせつ工事	1	1	4月1日	青木建設(株)	132,516	94.9	
平成28年度 衣浦港外港地区西防波堤(改良)被覆工事	港湾土木工事	4	4	6月1日	徳倉建設(株)	55,080	95.5	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式) 期間 平成28年4月1日~平成28年6月30日

業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成28年度 伊勢湾環境情報利活用検討業務	建設コンサルタント等	1	1	5月20日	国際航業(株)	31,104	97.0	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式) 期間 平成28年4月1日~平成28年6月30日

業 務 名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成28年度 名古屋港翔龍運航	役務の提供等	1	1	4月1日	(株)ポルテック	17,185	98.5	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用)		
平成28年度 四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区道路(霞4号幹線)橋梁(P3~P9)上部工事	本工事と完成済みの上部工P3までの工区で、工事種別は異なるのか。	P3までは陸上施工であり、本工事のP3からP9は海上施工となりますが、いずれの構造も鋼床版箱桁構造であることから、どちらも港湾等鋼構造物工事で発注しており、同じ工事種別です。
	完成済みの上部工P3までの受注者はどこか。	本工事と同じ業者です。
	受注者の評価は、どの点が優れていたか。	受注者は技術提案に係る加算点が最も高く、特に技術の優位性について、他者より評価が高かったものです。
	本件は適正に処理された。	

2. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成28年度 田子の浦港航路泊地(-12m) 港口部整備工事	1者応札となった原因は何か。	過去の同種工事に参加した者にヒアリングしたところ、浚渫工事の実績を持つ技術者が本工事と工期が重複する他工事に従事していたため、参加を見送ったとのことでした。
	港口部に漂砂が溜まりやすいことについて、改善策はあるか。	有識者から指導を受けながら検討を行っており、これまでに、港口部を深掘りし、漂砂を溜める方法が効果的との方向性が得られています。現在も検討を進めており、今年度、深掘りする規模や配置を検証する予定です。
	浚渫と土取の違いは何か。	施工管理対象の違いで分類しており、浚渫は海底の地形を管理対象とする工事で、土取は浚渫土量を管理対象とする工事を指します。
	本件は適正に処理された。	
3. 一般競争入札(政府調達適用外)		
平成28年度 衣浦港外港地区西防波堤(改良)被覆工事	加算点について、高い者と低い者の差はどこにあったのか。	主に、表彰の受賞や技術者育成の実績、工事成績、継続教育の有無の評価で差がつかしました。
	各者とも予定価格に比較的近い入札額であるが、どのように考えるか。	本件のような比較的規模が小さい工事については、利潤幅が少ないため、予定価格に近い入札額になる傾向であると考えます。
	本件は適正に処理された。	
4. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)		
平成28年度 伊勢湾環境情報利活用検討業務	本業務に利活用検討を含むこととした理由は何か。	本件で取り扱うデータベースは、一般の方、研究者、あるいは漁業関係者等に広く利用されており、それら利用者からの要望に応じてデータベースを改良する必要があるためです。
	データベースを公表した時期と、その後の発注の経緯を教えてください。	平成13年度よりデータベースの構築に着手し、15年度に一般公開しました。その後は、データベースの保守管理業務を役務として発注してきましたが、システム構築後10数年が経過し、全面的な改良が必要となっていたことから、26年度以降は、建設コンサルタント業務として発注しています。
	本件、1者応札となっているが、過年度の状況は、どうであったか。また、1者応札が続いているのであれば、参加者を増やすための取り組みは行ってきたのか。	平成26年度以降、1者応札となっています。そのため、27年度は、競争参加資格として求める業務実績の対象期間を10年から15年に延ばしました。また、28年度は、それに加え、業務実績の要件を緩和しました。また、27年度以降は、過年度の業務成果を開示することで、過年度業務の受注者が有利となることのないようにしています。
	今後の発注について、1者応札への対応として何か考えられるか。	発注方式や更なる要件の緩和等、様々な工夫を行っていきたいと考えています。
	本件は適正に処理された。	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)		
平成28年度 名古屋 港翔龍運航	過去の同種業務の応札状況を教えてほしい。	平成16年度以降、本件と同じ者による1者応札となっています。
	1者応札への対応策として、何が考えられるか。	参加想定業者に対してヒアリングしたところ、新たな船員の確保や落札出来なかった場合の船員の処遇が課題となるとの回答でした。 これを受け、今後は、これまでの要件緩和と併せて船員確保の準備期間を設けられるよう、公告時期をできる限り早くすることを検討しています。
	落札金額について、過年度や他の船舶と比べて変動はあるのか。	他の船舶と同様に、基準に基づき必要となる費用を積算します。過年度との比較では、労務単価や燃料単価の変更により多少の変動があるものの、それほど違いはありません。
	本件は適正に処理された。	
6. その他		
	なし	